

AGU 青山学院大学 NEWS No.43

AGUニュース第43号
[2008年8月～10月号]

青山学院大学・広報入試センター広報課
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-8111(代表)
URL: <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>



相模原キャンパス

特集  AOYAMA
GAKUIN
UNIVERSITY

大学と保護者との新しい絆 「ペアレンツウィークエンド」

ペアレンツウィークエンドの意義について

—— 副学長 土山 實男 ——

保護者と学部長による「特別座談会」 保護者の声

TOPICS

「サイバーキャンパス整備事業」2期連続で採択
2007年度 進路・就職状況について
社会に広く門戸を開く「青山学院大学大学院」

報告・お知らせ

文部科学省「現代GP」最終成果報告
本学院建築物が国登録有形文化財に登録

誌上公開講座

青山スタンダード テーマ別科目
「人口問題A」

INFORMATION

夏期休業期間中の窓口案内
2009年度一般入学試験・センター利用入学試験日程

大学と保護者との新しい絆 ペアレンツウィークエンド(旧 父母懇談会)に ぜひご参加を。

特 集

青山学院大学キャンパスをステージに、 家族で大学を楽しむ「週末」にしたい。

伊藤定良学長は学長方針のなかで「大学を“出会いの場”にしたい」と言っています。本学に入学してきた学生たちは、これから友人、教員、知識、文化など、さまざまな新しい出会いを経験します。それらの出会いを通して、学生だけでなく大学全体が成長します。そんな成長のステージとしての青山学院大学を、ぜひとも保護者の方々にもっと知っていただきたいと思っています。

従来、「父母懇談会」として開催してきました。同懇談会では、大学の近況や学生の成績、就職に関する相談を中心として、2年、3年生の保護者を対象に開催してきました。もちろん進路・成績の問題は保護者の方々にとって大きな関心事であり、父母懇談会は重要な役割を

果たしております。そこで今年度からは、1年生の保護者の方々にも加わっていただき大学を見ていただく機会にしたいと考え「ペアレンツウィークエンド」を企画しました。保護者の方々に大学を楽しんでいただける週末にしたいと思っています。

日本では聞き慣れない「ペアレンツウィークエンド」ですが、ミシガン大学やマサチューセッツ工科大学など米国の大学では以前から盛んに行われている行事です。内容的にも講演会、スポーツ観戦やオーケストラの演奏会など、それぞれの大学の特色ある催しを披露し、家族みんなで楽しめる一大イベントとして定着しています。そんな「大切な週末を家族揃って大学で過ごしてほしい」との思いを本学でも新たに打ち出し、日本版ペアレンツウィークエンドを企画しました。本学と保護者との関係をいっそう近いものにし、青山学院大学の魅力をまず保護者の皆さまに知っていただく場にしていきたいと考えています。



副学長 土山 實男

関する相談を中心として、2年、3年生の保護者を対象に開催してきました。もちろん進路・成績の問題は保護者の方々にとって大きな関心事であり、父母懇談会は重要な役割を

2008年度ペアレンツウィークエンド 今後の開催日程

2008年度ペアレンツウィークエンドの今後の開催日程をお知らせいたします。お申し込みは、ご案内に同封の専用ハガキ、もしくは青山学院大学ホームページ上で受付中です。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

(首都圏)

学 部	実施日	開催場所
理工学部	10月11日(土)	相模原キャンパス
社会情報学部		

開催時間●13:00～16:00

対象：東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県在住、1～3年生保護者の方。

【ペアレンツウィークエンドに関するお問い合わせ先】
庶務部庶務課

TEL.03-3409-8568 (ダイヤルイン)

ペアレンツウィークエンドURL

<http://www.aoyama.ac.jp/target/parents/>



(地区)

会 場	実施日	開催場所
広 島	8月2日(土)	ホテルグランヴィア広島
大 阪	8月3日(日)	ホテルグランヴィア大阪
浜 松	8月3日(日)	オークラアクティホテル浜松
札 幌	8月9日(土)	ホテルオークラ札幌
佐 賀	8月9日(土)	ホテルニューオータニ佐賀
函 館	8月10日(日)	ロワジュールホテル函館
福 岡	8月10日(日)	ホテルニューオータニ博多
新 潟	8月23日(土)	新潟グランドホテル
高 知	8月24日(日)	三翠園
金 沢	8月30日(土)	ANAクラウンプラザホテル金沢
水 戸	8月31日(日)	三の丸ホテル
山 形	9月6日(土)	山形国際ホテル
盛 岡	9月7日(日)	ホテルメトロポリタン盛岡
松 本	9月14日(日)	松本東急イン

開催時間●10:30～15:00

対象：首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県在住1～3年生保護者の方)以外の全道府県在住、全学年の保護者の方。お住まい近くの会場に限らず、どの会場にご出席いただいても結構です。

青山学院大学では、
従来の「父母懇談会」を今年度より「ペアレンツウィークエンド」と名称変更し、
装いも新たに開催することになりました。
これは大学と保護者の方々とのつながりをより強化することを目的とした取り組みです。
ペアレンツウィークエンドをスタートさせるに至った背景、経緯、
および今後の展望について、土山實男副学長にお話を聞きました。

青学の良さを共有することで、 新しい「青山ファミリー」が生まれます。

保護者の方々に青山学院大学のキャンパスを実際に見ていただく機会として、例えば受験生を対象とするオープンキャンパスがあります。しかし、学生にとっても、受験生として訪れたキャンパスと、実際に大学生として毎日通学しているキャンパスとでは、見える景色が全く違います。このことは保護者の方々も同様で、オープンキャンパスにお越しただいた方も多いかと思いますが、保護者としてあらためてキャンパスに足を運んでいただければ、以前と違った気持ちになっていただけるはずです。そして、お子さんを本学に入学させたことに、きっと安心していただけると思っています。

本学には何代にもわたって青山で学んだ「青山ファミリー」と呼ばれる方々が数多くいます。それはご家族で青山学院大学の良さを分かちあっているひとつの証しです。もちろん、今年初めて本学にお出でになれる方々も多くおられます。そんな保護者の方々にペアレンツウィークエンドの機会を利用して大学にお越しただいて、本学の歴史や伝統を見てもらい、学生たちとともに本学の素晴らしいところを共有していただけたらと思います。将来、いまの学生の子どもたちがまた本学に学ぶことになるかもしれません。こうして「青山ファミリー」が未来にひろがっていけばと願っております。

ペアレンツウィークエンドは、 保護者とともに作っていくイベントです。

ペアレンツウィークエンドは、6月14日、青山キャンパスでの開催から始まりました。7月以降、青山あるいは相模原キャンパスにお越しただけない遠方の方々のために、全国の地方都市で開催します。各地域の校友会とも連携し、同郷の教職員を参加させるなど、地域色の強いイベントにし「青山学院大学らしさ」をお届けしたいと考えています。この他、今年は9月20日に福岡で富山太佳夫文学部教授による「九州と世界をつなぐ」と題する講演会と、11月15日に仙台で袴田茂樹国際政治経済学部教授の「世界に通用した江戸時代の日本人―大黒屋光太夫と日本文化の底力」と題する講演会が開かれます。

なお、本学では年間を通じ、公開講座や講演会、国際会議など、保護者を含めた一般の方々にもご参加いただける多くのイベントがほとんど毎週のように開かれています。このペアレンツウィークエンドも、そんな本学と社会とをつなぐイベントのひとつです。今年スタートさせたばかりの新しい取り組みですので、まだまだ改善していくべき点が多くあると思います。ぜひとも保護者のみなさまからいろいろなご意見やご要望をお聞かせいただき、本学と家庭との絆をしっかりと結びつける「ペアレンツウィークエンド」を築き上げていきたいと考えています。今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。



学生によるコンサート

6月14日および28日に、ペアレンツウィークエンド特別企画として、青山学院管弦楽団および団員の有志で結成されたメンバーによる弦楽四重奏の演奏がありました。学生の演奏に、保護者の皆様から暖かい拍手が送られました。



全体説明会



ティータイム

青山キャンパスを舞台に、 首都圏の「ペアレンツウィークエンド」を 開催しました。



2008年6月14日(土) [経済学部／国際政治経済学部]、21日(土) [文学部／法学部]、28日(土) [経営学部／総合文化政策学部] の3日間、青山キャンパスで首都圏のペアレンツウィークエンドが開催されました。対象を従来の2・3年生から1年生の保護者にも拡大し、さらに全体説明会終了後にティータイムの時間を設けるなど、昨年までの父母懇談会とは異なる新しい試みも実施。参加された保護者の方々からは全体的にご好評の声をいただきました。

21日に参加された、文学部と法学部に在学学生を持つ保護者にご協力いただき、それぞれの学部長との座談会を行い、今年の「ペアレンツウィークエンド」についてのご感想、ご要望をお聞きました。

文学部 在学生の保護者

新津 昌昭さん 享子さん
田中 信行さん 央子さん



文学部長 西澤文昭

西澤 本日はありがとうございます。装いも新たに開催しました「ペアレンツウィークエンド」ですが、ご参加されてのご感想をぜひ聞かせてください。

新津昌昭さん(以下、新津父) いつも2年生の娘が日本文学科でお世話になっています。このキャンパスに来るのは入学式のとき以来です。あのときは人がとにかく多くて、キャンパスの様子どころではなかったのですが、今日あらためて拝見し、素晴らしい環境であることを実感できました。キャンパスの雰囲気を感じただけでも来た甲斐があります。



新津 昌昭さん 享子さん

田中信行さん(以下、田中父) 私の娘は英米文学科の1年生です。私も仕事でよく青山キャンパス前の道は通るのですが、中はどうなっているんだろうと、いつも気になっていました。こうしてキャンパスを訪ねられる機会は、親としてうれしいですね。自分の大学時代と比べて、大学側のフォローのきめ細かさを感じました。

田中央子さん(以下、田中母) 娘が入学したばかりで、私どもも大学のことをよく知らない状況です。今日のペアレンツウィークエンドに参加することで、大学の概要だけでなく、娘の勉強している科目のことや成績表の見方などの細かな部分まで知ることができたので、とても参考になりました。

西澤 大学として、受験生向けに情報を発信する機会はオープンキャンパスなどで積極的に行っていますが、現役学生の保護者に向けた情報提供の場が

これまでは希薄でした。そのため従来の「父母懇談会」をさらに充実させる意図が「ペアレンツウィークエンド」には含まれています。大学の様子が少しでも保護者のみなさんに伝わったのであれば幸いです。さて、大学生になられてからの娘さんはいかがですか。

新津享子さん 2年生になってから専門的な勉強が増えてきて、とても楽しく学んでいるようです。娘は『源氏物語』に興味があるのですが、先日「源氏物語千年紀」で盛りあがる京都方面へ母子で旅行してまいりました。

西澤 それはいいですね。本学部には源氏物語研究の権威と呼ばれる教授をはじめ、各学科ともに優れた教員陣が揃っています。学生たちにとっては、専門的な研究に思い切り取り組める環境が整っていると自負しています。

新津父 娘からも先生の話が時々出ますが、私が大学生だったころは、大学の先生と親しく話をした記憶がありません(笑)。教員と学生の距離が近く感じられるのはいいことです。

西澤 特に文学部では教職員全員で“アットホームな学部”を目指しています。それこそ研究を通じて世界的にも有名な先生方と気軽に話ができることは、学生にとって大きな刺激となるはずです。



田中 央子さん 信行さん

田中母 うちの娘は、海外留学を大きな目標として、大学に入学しました。今日は、留学に関する制度についても知りたいと考えていましたが、全体説明会後の個別相談で詳しくお聞きできてよかったです。

田中父 個別相談は自由参加でしたが、多くの保護者の方々が残っているりと相談されていました。私どもだけでなく、他のみなさんも今日のイベントは、有意義に感じられたのではないのでしょうか。

西澤 そういっていただけるとありがたいです。では逆に、本日のペアレンツウィークエンドについて、何かご要望のようなことはございますか。今後の参考にしたいのですが。

田中父 青山キャンパスの素晴らしい環境は良くわかりましたが、1、2年生の間、娘は相模原キャンパスに通っているの、そちらの方を見る機会も設けていただきたいですね。

新津父 私も同じです。実は相模原は地元なのですが、キャンパスを訪れる機会はなかなかないので…。



西澤 そうですね。実際はキャンパスの見学は、いつでも自由にしていただけるのですが、何かイベント事にした方がみなさんも参加しやすいでしょうね。今回の反省も踏まえ、また来年度以降も、有意義に過ごしていただける「ペアレンツウィークエンド」を企画したいと思います。ご多忙のなか、本日は本当にありがとうございます。

法学部

在学生の保護者

高橋 京さん 妙さん
富山 克彦さん こずえさん

法学部長 土橋 正

土橋 「ペアレンツウィークエンド」にご参加いただきありがとうございます。本日はいかがでしたか。

高橋京さん（以下、高橋父） いつも2年生の息子がお世話になっております。入学式は家内に任せたので、正式にキャンパスに入っただけは初めてです。今日は参考になる話をいろいろとお聞きできたので良かったと思いました。



高橋 妙さん 京さん

富山こずえさん 今日は、2年生になった息子の入学式以来の青山キャンパスでした。入学式は人も多く、ゆっくりできなかったのも、また違った目でキャンパスを眺めさせていただきました。緑も多くきれいなキャンパスですね。

富山克彦さん（以下、富山父） 私どもは茨城県ですので、息子は一人暮らしをしております。普段は会って話す機会も少ないので、学業成績や学生生活についての話を大学の方からお聞きでき、少しは息子の大学生活を理解できた気がします。

高橋妙さん（以下、高橋母） 今回、ペアレンツウィークエンドに参加し、とても内容が良かっただけに、できれば息子が1年生の昨年に参加できたら、大学をより一層理解できたと思いました。

土橋 昨年までの「父母懇談会」は、2年生以上の在学生の保護者が対象でした。やはり今ご指摘いただいたようなご意見も多く寄せられ、今年度から「ペアレンツウィークエンド」と「進化」させるにあたり、1年生の保護者の方々も対象となった背景があります。さて、両方のご家族ともに息子さんが2年生になられたとのことで、より専門的な法律の学びがスタートし

た段階ですね。

富山父 法学部とはいえ、実際に法曹の世界に進める人はごくわずかです。ただし世の中の多くの仕事に“法律”が関係しており、法の知識は必ずどこかで生かせると思います。そういう意味で、今日の説明会において、「法律の基礎を固め、広い視野を養う教育を実践している」とのお話を聞いたことは心強かったです。

高橋父 そうですね。大学での勉強を通じて、息子が広く社会に目を向けてくれるようになれば親としてうれしいですね。

土橋 確かに司法試験の体制が変更されるなど、法律を学ぶ環境が何かと揺れ動いている時期ではあります。ただし卒業後にロースクールを目指すにしろ、就職するにしろ、法律という観点から社会への興味を深く掘り下げ、学生たちに多彩な知識を身につけてもらうことが法学部の役割です。その点はお安心いただきたいと思います。

高橋母 そういえば、ある朝に息子が突然スーツを着ていてビックリしたんです。ついつい「ど



うしたんですか?」と、あらためて質問してしまいました(笑)。どうやら授業で模擬裁判があるらしく、学生たちが“裁判”でそれぞれの役割を受けもつとのことでした。息子は裁判官の役だったのですが、スーツ着用は先生からの指示ではなく、学生たちの間で相談して決めたそうです。講義を受ける姿勢やTPOなどを、講義を通じて自然に学べたことに親としてうれしく思いました。

土橋 親御さんにそう感じていただけるのは、大学側にとってもうれしいことです。お子さまの大学生活について、さらにご理解を深めていただくこともペアレンツウィークエンドの大きな目的ですから…。では何か、次年度以降に対する要望などおありでしょうか。



富山 克彦さん こずえさん

富山父 息子から名前をよく耳にする先生方と、もっと交流できればいいなと思いました。実際に講義で教わっている先生方の人柄にも触れてみたいですね。

高橋父 私どもは、親同士の交流も大切だなと感じました。例えば学年ごとに先生を囲んでの懇親会などがあれば、同じような環境で子どもを通わせている親同士で、有意義な意見交換ができると思うのですが…。

土橋 なるほど。貴重なご意見をありがとうございます。「ペアレンツウィークエンド」は、今年初めての開催でしたので、今後ますます充実させていく予定です。今日のお話もぜひ次年度以降の参考にさせていただきます。本日はご多忙の折、ご協力いただきありがとうございます。



於 2008年6月21日(土) 青山キャンパスにて

6月中に開催した首都圏の「ペアレンツウィークエンド」は、各学部とも多くの方々に足を運んでいただき、大盛況となりました。ご来場いただいた保護者の方々にアンケートをお願いし、「初めて」の「ペアレンツウィークエンド」の感想をお聞きしました。

入学式に出席できなかったのも娘の通う大学の様子を知ることができよかった。1年生なので就職のことよりもこれからの学生生活のことについて聞きたかった。

(国際政治経済学部・1年)

学生の体験談は素晴らしいです。優秀な学生さんの体験談だったと思いますが、なかなか内定をもらえなかった人等、一般的な学生さんの話も聞けるとさらに良かったと思います。

(国際政治経済学部・2年)

学生さんの体験談、企業の方のお話は参考になりました。ミニコンサートもよかったです。立派なパイプオルガンの音色も聴いてみたかったです。

(経済学部・1年)

就職について、在学生、卒業生、企業人事部担当の方からのお話がとても参考になった。息子なりに色々考えているらしいが、下宿しているため、就職について話し合うこともしていない。今日の話を参考に一緒に考えていけたらと思った。

(経済学部・3年)

大学の施設、キャンパス環境、先生方の教育・指導方針、将来の卒業就職までのビジョンが理解できて良かったと思います。

(経営学部・1年)

親として知りたかったことが良くわかりました。先生方から自信を持った力強い言葉を聞き、この大学に安心して通わせることができるという思いが強くなりました。

(経営学部・2年)

大学生にもなって親の出る幕ではないと半信半疑の参加申し込みでしたが、総合文化政策学部という独特の方針が保護者である自分にもいい影響となりました。

(総合文化政策学部・1年)

学部開設にける大学、担当の先生方の熱意・信念が大変良く伝わり、また理解できました。今後親としてもできる限りフォロー・バックアップしてまいります。

(総合文化政策学部・1年)

平成17年度に続き、平成20年度 文部科学省 「サイバーキャンパス整備事業」に 2期連続で採択されました。



総合研究所eラーニング
人材育成研究センター長
玉木 欽也

平成17年度に文部科学省の「サイバーキャンパス整備事業」に採択された“メディアを活用した実践的授業のための教育支援者判定プログラム”の取り組みが19年度をもって規定の3年間で終了しましたが、本学では、引き続き平成20年度も採択を受け、関連事業を継続的に展開することになりました。今回の事業名称は“実践型人材育成プログラムと到達能力開発・保証支援システムの開発”です。本学で活動の中核を担う総合研究所eラーニング人材育成研究センター(eLPCO)の玉木欽也センター長に、サイバーキャンパス整備事業に関するこれまでの取り組みの成果と、今後の展開について聞きました。

■円滑な「教育支援者育成プログラム」の運用に貢献

今日の高等教育において、学生の学習意欲の低下、教員の授業設計や教授方法の未熟さなど、さまざまな問題が表面化してきました。その解決策として、教員が「教える授業」から学生が「主体的に学ぶ授業」への転換が期待されており、その有効な手法としてeラーニングの活用が注目を集めています。eラーニングは、すでに欧米を中心に海外では積極的に導入され、アジアでもシンガポールや韓国では、かなり充実したシステムを実用化。日本は大きく立ち遅れているのが現状です。

eラーニング授業は、現場の教員の力だけでは導入が難しいため、eラーニング授業を構築・運用できる専門家が必要となります。その専門家に相応しいスキルを育成および判定する教育支援システムの構築、いわば人材育成プログラムをスムーズに運用するための“仕組みづくり”に関する取り組みが「サイバーキャンパス整備事業」に採択された“メディアを活用した実践的授業のための教育支援者判定プログラム”の取り組みです。

本事業がスタートする段階で、「学部教育におけるメディア授業ガイドライン(授業設計・実施・評価法)および教育支援者判定ガイドラインの編纂」「実践教育コンテンツの開発・改良」「教育支援システムの開発と改良」という3つの目的が掲げられていました。成果としては、まずeラーニング専門家育成の「教育」の部分を担当する“メディア授業”と、育成までの「資格認定プロセス」の部分を担当する“スキル判定”を効率化するためのガイドラインを編纂。円滑なプログラム運用を実現しました。次に実際にICTシステムの運用に必要な知識を学ぶ“実践教育コンテンツ”を4科目計38本開発。これは先ほどの「メディア授業ガイドライン」に沿って開発されたもので、国内7大学、国外2大学で正規授業として実用されました。そして、専門家育成プログラムにおけるスムーズな進行を、省力化を含めた面からも支援する5つの教育支援システムを新規開発。また1システム

を改良し、総合的な学習支援環境の構築に寄与しました。

このように第一弾の取り組みとも呼べる平成17年度からの3年間では、メディアを活用した実践的授業における「ガイドラインの編纂」「実践教育コンテンツの開発」「教育支援システムの開発」などで一定の成果をあげることができました。とはいえ、まだまだ改良できる部分も感じており、事業をさらに継続することの意義を申請していたところ、「平成20年度サイバーキャンパス整備事業」に採択され、引き続き第2期事業に取り組みることになりました。無事に第二段階へ進むことができたという感じです。

■「人材の到達能力を開発・保証する仕組みづくり」への挑戦

2期目となる事業のテーマは“実践型人材育成プログラムと到達能力開発・保証支援システムの開発”です。要約すれば「育成したい人材の到達能力を開発・保証する仕組みづくり」とでも言えるでしょうか。前回の事業で、「教育支援者」の到達能力の修得度を判定する試験法や評価法の開発を行いました。今回は学習者自身が、自分の将来目標とする能力を定め、学習過程の中で自分の能力の現状を把握するためのコンピテンシポートフォリオを提示することが大きな目的となります。いわば、その学習者が学ぶべきこと、および現状の到達度などを「可視化」できる環境を構築するわけです。

これらの取り組みにはふたつの方向からのアプローチを考えています。まずは「産学協働による実践型人材育成プログラムの開発と実施」、そして「到達能力開発・保証支援システムの開発と実用化」です。これをわかりやすく、社会への旅立ちを控えた大学院生の人材育成を例にとってみましょう。本当の意味で社会が求めている知識や技術の中身といったものは、ただ大学側で一方的に想定するだけではなく、実際の社会・企業の声を反映する必要があります。つまり真の実践型人材育成プログラムの開発には、“産学協働”が大きなキーワードとなるわけです。そして社会に求められる能力が明確になれば、学生は希望の進路に進むために必要な能力を把握し、身につけようと努力します。そのときに既に修得済みの能力を知ることができれば、さまざまな視点からの自己分析につながり、正確なキャリアプランニングが可能となるはずです。コンピテンシポートフォリオの調査研究とシステム設計・開発をしていくことにより、「到達能力開発・保証支援システム」を教育現場に有効に活用していきたいと考えています。

到達能力や学習行動特性を可視化するコンピテンシポートフォリオは、学習者自身が自己分析の有効なツールに活用できるだけでなく、教職員・教育支援者にとっても学習者一人ひとりに適した学習指導や進路指導に生かすことも可能です。また大学内だけでなく社会全体における組織的な人材育成にも応用できる可能性も秘めています。ただし、まだ取り組みはスタートしたばかりです。これからの3年間で大きな成果を残せるよう尽力するつもりです。機会があるたびに、成果報告をさせていただきますので、ぜひご期待ください。

2007年度 進路・就職状況について



就職部長
仁科 貞文
(文学部心理学科教授)

この数年間、進路・就職状況は順調に推移してきましたが、2007年度(2008年3月卒業生)は前年度に比べてさらに進路決定率、就職率が増加しました。この傾向は、2008年度(2009年3月卒業予定)も続きそうで、進路・就職センターでは全体としての進路・就職のレベルの向上とともに、個々の学生が満足できる進路選びができるような進路支援活動(個別相談など)をより充実させていきたいと考えています。

1) 2007年度卒業生「進路決定届」の把握状況について

卒業生の進路決定届の回収に努めた結果、2007年度はほぼ全員(卒業生4,073名中の4,072名)から進路決定届が提出され、回収率は99.9%となりました(参考:2006年度99.7%、2005年度99.7%、2004年度99.7%、2003年度99.2%、2002年度72.1%)。

2) 2007年度卒業生の「進路・就職状況」について

2007年度卒業生4,073名のうち、進路決定者数(就職者および進学者)は3,619名で、「進路決定率」は大学全体で88.9%(昼間部90.8%、第二部77.6%)となりました。2006年度の進路決定率が85.0%でしたから、さらに約4%増加してお

り、2003年度の77.6%に比べると、11.3%の増加となっています。

進路決定者の中で、「就職者率」(新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者)は大学全体で79.6%(昼間部81.3%、第二部69.8%)で、これは2006年度の75.2%、2005年度の74.9%、2004年度の72.3%よりかなり増加しており、2003年度の64.9%に比べると14.7%の大幅な増加となっています。

さらに就職者の中での、「就職決定率」(新規採用決定者の割合)は大学全体で74.5%(昼間部78.9%、第二部48.9%)で、2006年度の71.3%、2005年度の68.3%、2004年度の63.2%、2003年度の55.4%に比べて、年々増加傾向にあります。なお、昼間部文系5学部の平均では81.0%(2006年度77.3%、2005年度73.9%、2004年度69.5%、2003年度61.4%)でした。

一方、就職者が増加した半面で、2007年度の進学者率(大学院進学、留学、専門学校進学)は9.2%で、2006年度の9.8%、2005年度の9.7%、2004年度の9.9%に比べて、多少減少しています。

3) 2007年度卒業生の「進路保留状況」について

「進路保留者率」(各種試験準備、ボランティア、主婦、進路未定者)は大学全体で11.1%(昼間部9.2%、第二部22.4%)で、2006年度の14.7%、2005年度の15.2%、2004年度の17.5%、2003年度の21.6%と比べて、徐々に減少しています。内訳は、進学・留学・各種試験準備が6.0%、ボランティア・主婦が0.6%、その他(進路未定者等)が4.5%でした。

図1 進路決定率(2003年～2007年度の推移)

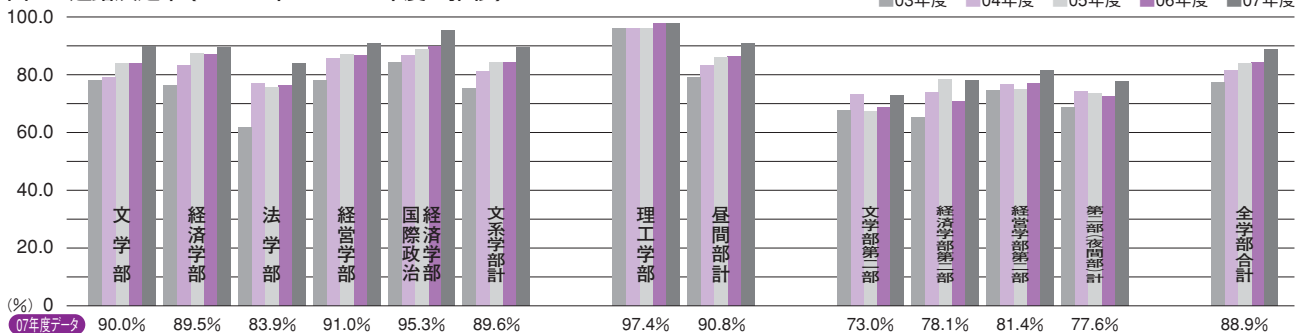
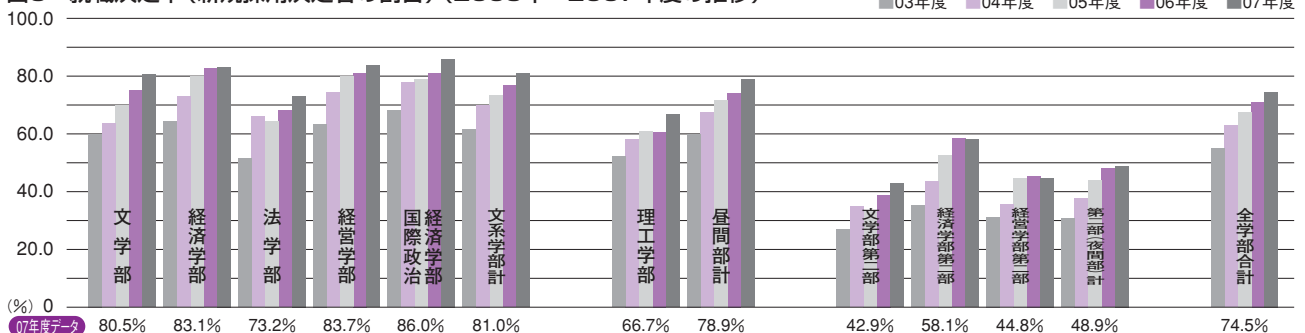


図2 2007年度 進路決定者
(内訳:就職者・進学者の構成比)

■就職者率 ■進学者率



図3 就職決定率(新規採用決定者の割合)(2003年～2007年度の推移)



社会に広く門戸を開く「青山学院大学大学院」～本学大学院・専門職大学院への進学を考えるみなさんへ～



副学長
長谷川 信

以前より大学院では、学部を卒業した学生がそのまま大学院生として研究室に残り、質の高い研究を続けることで一人前の研究者として世に輩出されるという流れが一般的でした。もちろんその考え方は今も生きていますし、現に多くの優れた研究者が大学院から巣立っています。しかし、多様化する現代社会を背景に、学部卒業生だけでなく、社会人や留学生がより高度な知識を学ぶための教育機関

として、大学院に大きな期待が寄せられています。

すでに実務経験のある社会人が大学院で学ぶ場合、身につけたい技能は、かなりピンポイントな専門的内容になると想像できます。逆に学びの場を提供する大学院側から見れば、求められる学問領域は、院生それぞれによって異なるため、多領域にわたることになります。社会人に門戸を開くことは、“広く学べる環境”とともに、“より深く学べる環境”を用意することが必要となるのです。それは“基礎的理論”と“専門的実践”とが融合した学びと言い換えられるかもしれません。

本学の大学院の大きな特色として、3つの専門職大学院（国際マネジメント研究科、法務研究科、会計プロフェッション研究科）を、早い段階から設置している点が挙げられます。これは、「より高度な専門教育

を受けたい」との社会からの要請にいち早く応えた形です。実際に院生には社会人の方が多く、研究科での学びを自らの仕事の成果につなげようと高い意識で学ばれています。

また、2008年度より「総合文化政策学部」と「社会情報学部」を新設し、学部に関連する形で大学院も同時に設置されました。そのため大学院は現在、学部に対応した8研究科を擁した組織となっています。さらに2009年度には、文学部から教育学科と心理学科が独立する形で「教育人間科学部」の新設が予定されており、大学院も新しく「教育人間科学研究科」が設置される予定です。これらの研究科についても、それぞれの研究科ごとに、社会人および留学生の方々の要望にも対応できる準備を整え、より専門性を追求できる方向へと進んでいくことが大切であると考えています。そのためにもこれまでの研究者養成の役割と、社会の要請に応える役割とをバランスよく学べるプログラムを柔軟に提供していきます。

その他、制度的な面からも昼夜開講制、学部と大学院との一貫教育、助成金制度の充実など、大学院への進学を考えている方々をバックアップする体制も整えています。ぜひとも多くの方々に、本学大学院、および専門職大学院に進学いただき、高い目的意識をともなう学びを実践していただきたいと思います。

2008年度大学院在籍学生数

（博士後期課程の学生数を除く）

博士前期課程・修士課程・一貫制博士・専門職学位課程 2008.5.1現在			
研究科・専攻		学内進学者数	在籍学生数
文学	教育学※	—	22
	心理学※	5	22
	英米文学※	—	45
	フランス文学・語学	—	8
	日本文学・日本語	—	9
	史学	—	36
小計		5	142
経済学	経済学	2	8
	公共・地域マネジメント	7	10
	小計	9	18
法学	私法	2	12
	公法	0	18
	ビジネス法務●	—	102
	小計	2	132
経営学	経営学※	5	27
国際政治経済学	国際政治学※	2	37
	国際経済学※	0	10
	国際コミュニケーション※	1	34
	小計	3	81
総合文化政策学	総合文化政策学	0	3
理工学	理工学	105	300
社会情報学	社会情報学	0	17
国際マネジメント	国際マネジメントサイエンス	—	1
国際マネジメント★	国際マネジメント※	—	221
法務★	法務	—	143
会計プロフェッション★	会計プロフェッション	—	179
合 計		129	1264

学内進学者数は学内進学者選抜試験および内部推薦入試による2008年4月入学学生数。

※印の専攻は昼夜開講制。

●印の専攻は平日夜間および土曜日の開講制。★印の研究科は専門職大学院。

2008年度教員採用試験報告

（2007年度実施）

本学は毎年数多くの教員を輩出し、社会から高い評価を得ています。

今年度は68人が全国の学校に赴任しました。

2007年度教員免許状取得および2008年度教員採用状況 2008.5.1現在

		免許状取得件数				採用者数						
		幼、小、中、高				公立学校		私立学校		計		合計
		昼間部		第二部(夜間部)		昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)	
		1種	2種	1種	2種							
幼稚園		45	0	4	0	1	0	4	0	5	0	5
小学校		63	1	19	0	29	8	1	0	30	8	38
養、ろう学校												
中学校	英 語	78	0	5	0	3	0	4	0	7	0	7
	フランス語	3	0			0		0		0		0
	国 語	24	0	8	0	1	0	1	0	2	0	2
	社 会	31	0	5	0	2	0	0	0	2	0	2
	理 科	2	0			0		0		0		0
	数 学	7	0			0		0		0		0
高等学校	英 語	87		5		4	0	3	0	7	0	7
	フランス語	4				0		0		0		0
	国 語	28		6		2	0	1	0	3	0	3
	地理歴史	31		7		0	0	1	0	1	0	1
	公 民	20		4		0	0	0	0	0	0	0
	理 科	3				0		0		0		0
	数 学	9				2		1		3		3
	商 業	2		0		0		0		0		0
	工 業	1				0		0		0		0
	情 報	1				0		0		0		0
計		261*		45*		44	8	16	0	60	8	68

※印の免許状取得件数の計は、取得人数の計（大学院生および科目等履修生は除く）。

採用者数は2008年5月1日現在届け出のあった者のみ（非常勤および臨時講師は除く）。

中高一貫校での就任の場合は中学校の採用者に含む。

総合文化政策学部主催国際シンポジウム 「オルハン・パムクとの対話」開催報告

去る5月15日(木)総研ビル12階大会議室にて、総合文化政策学部の主催による国際シンポジウム「オルハン・パムクとの対話」が開催されました。主催者側参加者も含めて270人ほどが来場する大盛況の中、内容的にも多彩で充実したものとなり、大成功を収めました。

オルハン・パムク氏は、2006年にトルコ人として初のノーベル文学賞を受賞した作家で、その代表作はすでにいくつか日本語に訳されています。トルコはいわゆる東洋の中で最もヨーロッパに近く、オスマン帝国の東南ヨーロッパ支配以来、ヨーロッパとは深い関係で結ばれています。20世紀初頭に、オスマン帝国の崩壊とともに、共和制を敷き、ヨーロッパ・モデルを採用して近代化に邁進してきましたが、近年はEUへの加盟を申請し続けるも成功せず、その一方で、イスラム主義の著しい台頭がみられます。

今回は特に、パムク氏の最近の大作『雪』を中心に、この東洋の西端と東洋の東端である日本の対話を試みました。会の冒頭、筆者が総合文化政策学部長として主催者を代表して挨拶を行い、本年度より開設された同学部の紹介を行った後、パムク氏に向かって、フランス留学時のトルコ人の友人の思い出



を語り、政教分離主義を国是とするフランスで起こったイスラム・スカーフ事件が、多数派の宗教がイスラム教であるトルコでも起こっていることへの率直な驚きを表明しつつ、氏への歓迎の言葉を述べました。

会は、総合司会を務める総合文化政策学部教授梅津順一氏の司会によって進行了ましたが、その第一部は、小説『雪』の創作ノートである「カルスの雪」の抜粋をパムク氏自身がトルコ語で朗読し、その日本語訳の朗読が続く、という構成で、併せてパムク氏による解説も行われました。

第二部では、作家・詩人でセゾン財団理事長として知られる辻井喬氏とパムク氏による対話が、国際交流基金理事長小倉和夫氏の司会で行われました。文人外交官として名高い小倉氏の巧みな司会による、優れた文学者同士の対話は、雪に閉ざされた国境の町カルスを舞台とする『雪』を巡って始まり、社会への対決、西洋との対面、自殺観の違いといったテーマから、やがては谷崎潤一郎、三島由紀夫、そして源氏物語にまで及ぶ、実に充実した1時間半となりました。

(総合文化政策学部長 石崎 晴己 記)

文学部主催「キング牧師没後40周年記念企画 ——コーネル・ウェスト氏による姜尚中氏との対談と特別講演会」開催報告

去る5月9日(金)と10日(土)の両日、文学部主催・英米文学科企画によるキング牧師没後40周年記念行事が、現代アメリカを代表する宗教哲学者コーネル・ウェスト氏(プリンストン大学教授)を迎えて、姜尚中氏(東京大学大学院教授)との対談と特別講演の二部構成で開催されました。

第一部「異なるものの共生——コーネル・ウェスト×姜尚中対談」(後援:朝日新聞社・青山学院宗教センター・青山学院大学英文学会)は、中央区築地の浜離宮朝日ホールにて、青山学院関係者と全国から足を運んでくださった一般参加者合わせて300人近い聴衆を前に行われました。深町正信院長(当時)と西澤文昭文学部長の挨拶、富山太佳夫文学部英米文学科教授による対談者紹介の後、ウェスト氏と姜氏は日米それぞれの歴史における民主主義の成り立ちと現状を比較しつつ、真の民主主義のあり方をめぐって真摯で創造的な対話を繰り広げられました。2時間半あまりに及んだ第一部は、姜氏の提案により、「異なるものの共生」を可能にする未来への希望を込めて、参加者全員で1963年のワシントン大行進でも歌われた「勝利を我らに(We Shall Overcome)」を歌い、高揚した空気の中、閉会となりました。

第二部では、青山キャンパスのガウチャー記念礼拝堂に会場を移し、「今なぜHumanity/Humanitiesか」と題して、ウェスト氏による特別講演会が行われました(後援:青山学院宗教センター・青山学院大学英文学会)。講演に先立ち、大島力大学宗教部長による開会祈祷と伊藤定良学長の挨拶がなされました。ついで筆者の紹介で演台に上がったウェスト氏は、キング牧師をはじめ暴力と不正に対して高い精神性



で挑んだ人々の系譜を辿り、苦難に直面した人間がその悲喜劇的な状況を生きる過程で生み出す芸術表現の役割に触れて、現代における人間性と人文学の意義を力説しました。雨天にもかかわらず約700席ある会場を埋

め尽くした学内外からの聴衆は、黒人バプテスト教会の伝統を引くウェスト氏の熱く心を揺さぶる語り口に真剣に聞き入っていました。講演後に設けられた質疑応答では時間が足りず、閉会後も一言ウェスト氏と対話をしようと長い列を作った参加者とウェスト氏との語らいは1時間にも及びました。

その後、青学会館ミルトスの間にて開かれたレセプションには、伊藤学長、西澤文学部長、伊藤悟大学宗教主任、折島正司文学部英米文学科主任などが列席し、学内外の研究者、教員、大学院生、学部生など約80名の参加者の皆さんとともに、ウェスト氏に歓迎の意を表しました。

非暴力によって差別や貧困と戦い、自由と平等の実現を目指したキング牧師が凶弾に倒れてから40年。21世紀を生きる私たちは、その遺産から何を受け継ぐのか。「楽観に陥ることなく未来に希望を抱き続けること」「一人ひとりが正義のために行動を起こすこと」の重要性を語るウェスト氏の言葉に耳を傾けつつ、あらためて問い直した2日間でした。

(文学部英米文学科 准教授 西本 あづさ 記)

(財)大学基準協会による「大学評価ならびに認証評価」において「適合」の認定を受けました。



全学自己点検・評価委員会委員長
副学長
長谷川 信

本学では、財団法人大学基準協会による「2007(平成19)年度大学評価ならびに認証評価」において、2008年3月19日付で「適合」の認定を受けました。この認定評価は、各大学が7年に1度受けることを義務付けられているもので、本学で作成した「自己点検・評価報告書」と「大学基礎データ」をもとに、学内の実地視察なども行われたうえで評価される仕組みです。今回の評価内容および学内の取り組みについて、全学自己点検・評価委員会委員長を務めた長谷川信副学長にお話を聞きました。

大学基準協会から今年の3月に「本協会の大学基準に適合している」との認定をいただきました。認証評価の内容は多岐にわたりますが、特に本学のキリスト教信仰に基づく教育の理念・方針について、「すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成を主目的とする教育方針に基づき、大学の理念も明確に規定されている。特に『地の塩、世の光』というスクール・モットーもキリスト教精神に基づくものであり、一貫して明確な理念・目的が設定されている」との評価をいただきました。同様に本学独自の教育内容・方法とも呼べる「青山スタンダード」についても、「大学教育の質を保証することを目指して大学名を冠した全学

共通教育システムを開発し学生に提供する営みは、意欲的かつ先進的である」と、高い評価を受けました。

しかし「適合」の認定をいただいたからと安心しているわけではありません。高評価をいただく一方で、助言・勧告など、改善すべき内容もいくつか指摘を受けました。それらにつきましては、改善の状況を2011年に「報告書」にまとめ、大学基準協会に提出することにもなっており、今後、指摘された部分は真摯に受け止め、対応を検討し、改善に努めていくつもりです。

今回、外部機関から評価を受けることで、内部にいる我々では気づかなかった本学の長所や短所を数多く発見することができました。助言・勧告を受けた“短所”の改善は当然ですが、“長所”を伸ばし、「本学らしさ」をさらに強めていくことも重要課題であると捉えています。そういう意味では、このたびの認証評価を機会に、義務付けられた7年に1度の評価に備えるだけでなく、より自立的かつ継続的な点検・評価の仕組みを学内で機能させることによって、社会からの信頼をさらに高める方向性を探っていきたいと考えています。

本学に対する高い評価を維持し、さらに向上していくためには、教職員はもとより、学生、保護者の方々を含め全学的な協力体制が不可欠です。今後ともみなさまからの積極的なご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)最終成果報告

渋谷・原宿・青山を繋ぐ商業観光拠点の育成

—本学の理念に基づく地域貢献の実践と社会連携体制の拡充—

「開かれた大学」を代表・象徴する本学の社会学連携研究センター(SACRE)は、文部科学省現代GPの採択を契機に設置されました。以後、本学(SACRE)は、街中にNPO渋谷・青山景観整備機構を設立し、そこと連携しつつ、また国・自治体・関連企業等の協力の下で、①渋谷駅周辺開発、②青山通り景観整備、③岡本太郎「明日の神話」招致、④学部教育の現代化に取り組むほか、渋谷・原宿・青山エリアのさまざまなプロジェクトやイベントのマネジメントに携わってきました。

なお現代GPの趣旨に従い、本学(SACRE)に対しては今後とも自力で社会学連携体制を継続・発展させ、地域に貢献することが求められています。学部教育との連携を核として、所期の目的を果たすべく活動を一層拡充・展開していく所存ですので、引き続き多くのみなさまのご理解とご支援を賜れば幸いです。(記 SACRE所長 井口 典夫)

■社会学連携研究センター(SACRE)

総研ビル5階14506室(TEL・FAX兼用 03-3409-8135)

ウェブサイト <http://www.renkei.aoyama.ac.jp/>



岡本太郎「明日の神話」設置想定図(渋谷マークシティ・コンコース)

eラーニング専門家の人材育成

—世界に通用する専門家育成プログラムの開発と普及—

eラーニング専門家育成プログラムを開発するにあたり、eラーニング人材育成研究センター(eLPCO)では、受講者の目標を明確にする意味でも「インストラクショナルデザイナー」「コンテンツスペシャリスト」「ラーニングシステムプロデューサー」「インストラクター」「メンター」と5職種のeラーニング専門家の人材像とスキルを定義。そして各スキルに対応した科目を設計し、最終的に26科目のeラーニング授業を開始しました。

初期のプログラム開発に約1年を要し、取り組み2年目となった2006年度から受講生を募集。初年度が前後期合わせて181名、2007年度は前後期合わせて136名、合わせて317名の学生が育成プログラムに参加してくれました。そしてそのうちの15名が、eラーニング専門家の資格認定試験をクリア。しかも設定した5職種すべてにおいて“専門家”が誕生しました。武藤元昭学長(当時)をはじめとする全学的な協力もあり、「現代GP」の当初の趣旨であった“eラーニング専門家の育成”を無事に達成できたと考えています。(記 eLPCO客員研究員 権藤 俊彦)

■eラーニング人材育成研究センター

総研ビル8階(TEL 03-3409-8115 内線12082)

ウェブサイト <http://elpc0.a2en.aoyama.ac.jp/>



第1回eラーニング専門家認定証授与式(2007年11月28日(水) 総研ビル9F第15会議室にて)

●青山スタンダード「キリスト教理解関連科目」特別講座 バッハ・コレギウム・ジャパン・レクチャーコンサート

5月29日(木)、青山キャンパス・ガウチャー記念礼拝堂において、今年で5回目を迎えるレクチャーコンサートが開催されました。雨にもかかわらず満堂の聴衆が集い、鈴木雅明先生とBCJの熱気に満ちた講演と演奏の時をすごすことができました。今年はバッハのカンタータ「神の時こそ、最上の時」とともに、バッハ復興に大いなる貢献を果たしたメンデルスゾーンのコラール・カンタータが演奏され、一度にバロックとロマン派を代表する作曲家の教会音楽を堪能することができ、感動もひとしおでした。



●2008年度新入生歓迎スポーツ (バスケットボール、フィットネス体験会)大会開催

6月15日(日)、相模原キャンパスにおいて新入生歓迎スポーツ大会が開催されました。相模原キャンパス開学以来恒例となっているバスケットボール大会については、A棟アリーナにおいて、一般28チーム、女子15チームによるトーナメント形式にて試合が行われ、一般チームは「カエルさんパンダさんチーム」、女子チームは「CUBA☆A」が優勝しました。また、初の試みとしてフィットネス体験会をA棟1階にて行いました。フィットネスセンターによる、エアロビクス体験、バランスチェック、ベンチプレス体験、栄養相談会などの趣向を凝らした内容により、参加した学生たちは大いに盛りあがりを見せていました。



バスケット一般優勝「カエルさんパンダさんチーム」



バスケット女子優勝「CUBA☆A」



バスケットボール大会風景



フィットネス体験会 エアロビクス



フィットネス体験会 バランスチェック

●対東北学院大学総合定期戦報告

5月31日(土)から6月2日(月)までの3日間、第59回対東北学院大学総合定期戦が本学において開催されました。初日こそ雨となりましたが、定期戦の熱気が空に伝わったのか、2、3日目は雨に降られることもなく、期間内開催のすべての種目が無事に行われました。初日は剣道、レスリングを皮切りに、開会式、ラクロスが行われ、2日目にはバレーボール、卓球、洋弓など、各会場で手に汗握る白熱した試合が繰り広げられました。スポーツにおける戦いのほかに、芸術における交流も行われ、本学吹奏楽バトントワリング部と東北学院大学シンフォニックウインドアンサンブルとのすばらしい交歓演奏会や両校応援団による力強いリーダー公開が行われ、定期戦を盛りあげました。最終日には射撃が行われ、閉会式をもって3日間にわたる熱い戦いは終了しました。総合成績は本学19点、東北学院大学9点で、本学が見事総合優勝を飾り、ここ2年間の連敗の雪辱を果たすことができ、通算成績は本学の37勝22敗となりました。また今年度の定期戦を通じて、両校の友情がより一層深まることとなりました。来年はいよいよ第60回大会です。長い歴史の中で、1つの節目を迎える総合定期戦。今年度以上の盛りあがり期待いたします。



●相模原祭のお知らせ

2008年度も10月11日(土)、12日(日)、13日(月)に相模原祭が実施されます。これまで相模原祭では、人文・社会科学系学部の1・2年生および理工学部の学生が中心となり、展示会、演奏会、ダンス大会、各種模擬店などの催し物が実施されてきました。相模原祭は回数を重ねるごとに大学内外での注目が集まり、より多くの学生が参加する盛大なものになってきており、6回目を迎える今回はさらに充実した学園祭になるものと思われます。現在、実行委員の学生たちが相模原祭を成功させるべく、日夜準備に励んでいます。10月にはきっとご期待に応えられる相模原祭が開催されることでしょう。

●課外教育プログラム

上級救急救命法講習会(青山キャンパス)

6月11日(水)青山キャンパス4号館合同器楽練習室にて、「上級救急救命法講習会」が17名の参加により実施されました。

この講習会は課外活動が本格化する夏季を前に、不慮の事故・事態に対する正しい応急・救命手当てを学ぶことで、自ら対応できるようになることを目的に企画されています。今年度も渋谷消防署のご協力により8時間の実習を行いました。前半は学生が人形を相手に、心肺蘇生法を練習。最初は救助を求める声に恥ずかしさが見受けられましたが、繰り返しごとに真剣な表情へと変わっていきまし。続いてAED(自動体外式除細動器)を使用した講習にも取り組み、音声ガイドに従って実施してみるとそれほど難しいものでなく、誰でも使いこなせるものであることを理解することができました。後半はケガの応急処置方法や、三角巾の使い方などについて勉強し知識を深めました。



今回の講習を通じて得心心肺蘇生などの知識を活かす機会は、そうそう遭ってほしくないことですが、救急救命の重要性を理解し、もしもの時には的確に対応すること、そしてなによりも勇気を出して救命に取り組むことを期待します。

●清里サマー・カレッジ

静かな大自然の中にある山梨県清里・ハガ岳寮で、学生と教員が生活を共にしながら、聖書や讃美歌に親しみ、年齢や学部・学科にとらわれずに参加者同士が語り合える機会です。2008年度は7月31日(木)～8月2日(土)、「あなたの足もとは確かですか」という主題のもとに開かれます。特別講師に聖学院大学大学院教授の増島俊之先生をお招きします。揺るぎない人生の礎を発見する時になるかもしれません。参加をお待ちしております。お問い合わせ先:青山学院宗教センター TEL 03-3409-6537



井上 孝

経済学部現代経済デザイン学科 教授

誌 上 公 開 講 座 No.43

青山スタンダード テーマ別科目 社会理解関連科目 「人口問題A」

西暦3000年の日本人口は64人?!

「え、まさか!」、「いくらなんでも64万人の間違いでは?」……。西暦3000年の日本人口が70人を切ると言ったら、普通はこのような反応が返ってくるのではないのでしょうか? でもこの数字は、現在の出生率の水準が今後千年あまり続くならばありうる話なのです。逆にいえば、現在の日本の出生率の水準はこれほどまでに低いといえるのです。「人口問題A」では、こうした、日本の人口問題に関するトピックを複数取り上げ、それらを系統立てて論理的かつ平易に解説しています。ここでは、上述したトピックすなわち西暦3000年の日本人口の話に絞って論じたいと思います。

TFRと「人口の置き換え水準」

およそ千年先の人口を推計するには現在の出生率の情報が必要であり、その情報とし

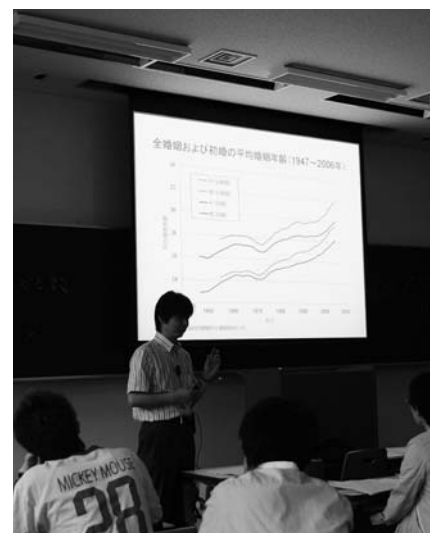
て用いられるのがTFR(Total Fertility Rate)の略、「合計特殊出生率」と訳される)です。TFRは出生率の中で最もよく使われる指標であり、通常、「一人の女性が生涯に産む子どもの数の平均値」と説明されます。TFRの興味深い点は、たった1年間の出生データから生涯に産む子どもの数を割り出してしまうことです。たとえば、最新(2007年)のTFRは1.34ですが、この数値は、日本のすべての女性が2007年の出生動向に従って出生行動をとり続けたとき、最終的に平均1.34人の子どもの産むことを意味します。つまり、TFRは「子どもを産み終えた女性の、これまで産んだ子どもの数の平均値」とはまったく異なるものです。

今回の推計に不可欠なもうひとつの情報が「人口の置き換え水準」です。これは、人口が増加も減少もしなくなる静止人口に至るような出生率の水準を意味し、その水準をTFRで表すと日本の場合約2.08人となります。すべての人間が2人の親から生まれますからこの値は2.00人でよい気もするのですが、実際には0.08人余計に出生しないと人口は維持されません。結婚・出産行動をとる以前に亡くなってしまふ人を補う必要があるからです。

現在のTFRが千年続くならば

人口の置き換え水準は人口を維持するための出生率の水準ですから、TFRを2.08人で割った値は一世代後の人口規模を表します。つまり、TFRの値が1.34のまま一定であれば、今後日本の人口は一世代ごとに1.34/2.08倍されていくことになります。一方、日本の一世代(親と子の平均年齢差)は現在約30歳なので、西暦3000年は今から33世代後に相当します。かくして西暦3000年の日本人口は、 $12,770万人(2007年の日本人口) \times (1.34/2.08)^{33} = 63.76人$ 、すなわち64人となるわけです。ちなみに、日本のTFRは2005年に1.26を記録したあと2年連続で上昇し出生率に回復傾向が現れたとの報道がなされました。上の式に1.26を代入すると西暦3000年の日本人口はわずか8人となるので、確かにTFRが0.08上昇した効果は8倍(8人→64人)にもなるのですが、これを素直に喜んでよいものかどうか難しいところですね。

本授業は、こうした衝撃的ともいえるべき数字を適宜示すことによって、受講生の皆さんに日本の人口問題をより実感的に理解していただくとの方針で進めております。



YOMIURI ONLINEにて 「青山学院スタイル」を掲載中

読売新聞社がWeb上で展開する「YOMIURI ONLINE」に、大学広報として2007年4月から「青山学院スタイル」を毎月連載しています。初年度は「伝統と進化」をテーマに、本学に縁のある方々のインタビュー記事を中心に構成していましたが、2年目となる2008年4月からは全面リニューアル。「いまこそ聞きたい、学びとライフスタイル」をテーマに、「学び」の部分は先生方とゼミ生のインタビュー、「ライフスタイル」の部分はアナウンス研究会によるキャンパス紹介（キャンパスルポ）を掲載中です。ぜひご覧ください。

（昨年のバックナンバーもご覧いただけます）

<http://www.yomiuri.co.jp/adv/agu2008/>

通学中等傷害危険担保特約 （略称：通学特約）に加入しました

青山学院大学では、全学生を対象に、学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）に加入しておりますが、通学特約（学生の住居と学校施設等との間の通学中、学校施設等相互間の移動中に生じた身体の傷害事故に適用される保険）については、加入をしておりませんでした。しかしながら、昨今の交通状況等を鑑み、全員加入になりましたのでお知らせいたします。

なお、この費用は後援会費より支払われています。

取扱窓口 相模原キャンパス……学生生活グループ
青山キャンパス……学生部厚生課

「ベリーホール」と「間島記念館」が、国登録有形文化財に登録

青山学院の建築物である「青山学院ベリーホール」と「青山学院間島記念館」が、国登録有形文化財（建造物）に登録されました。このふたつの建築物は「意匠的にすぐれた近代洋風建築であり、保存状態が極めて良好である」との評価を受け、2008年3月21日（金）に開催された文化庁文化審議会において登録が決定されたものです。

現在は本部棟として利用されている「ベリーホール」は、1931（昭和6）年に神学部校舎として建築されました。1905年から1931年まで神学部で教鞭を執り、神学部長も務められたA.D.ベリー先生が、関東大震災で倒壊した校舎復興のための募金活動などに尽力された功績を讃え「ベリーホール」と命名されました。ホール内の「チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂」では、1932（昭和7）年ドイツ・ヴァルカー社製のパイプオルガンが、今も現役で活躍。多くの人に愛され続けている、“薫の絡まるチャペル”が印象的な建築物です。



チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂



ベリーホール



間島記念館

1929（昭和4）年に図書館として建設された「間島記念館」。関東大震災後の校舎復興の時期に、図書館の新築に対して、当時の校友会会長であり理事であった間島弟彦氏が資金の寄付を申し出られ、死後に愛子夫人がその遺志を継いで完成に至ったという歴史を持ちます。古代ローマ神殿を思わせる本格的な古典主義的構成が、外観の大きな特色です。

登録有形文化財制度は、文化財保護法第57条に基づく制度で、対象となるのは建築後50年以上を経過し、1.国土の歴史的景観に寄与している、2.造形の規範となっている、3.再現が容易でない、のいずれかの基準を満たす建物とされています。青山学院の建築物としては、今回の「ベリーホール」と「間島記念館」が初めての国登録有形文化財となりました。これからも青山学院の象徴として、その誇らしげな雄姿を我々に見せてくれるはずです。

News Index 2008.5～6 2008年5月上旬～6月下旬までの大学ウェブサイト「新着情報」の主なタイトルを掲載しています。

08年5月

- 田村峻一君（理工・経シス4年）がInternational Symposium on Management Engineeringにおいて、Excellent Paper Awardを受賞
- 文学部 小川靖彦教授が「第25回上代文学会賞」「第3回全国大学国語国文学会賞」を受賞
- 小川武史理工学部（機械創造工学科）教授が、平成19年度日本材料学会「学術貢献賞」を受賞
- 「青山学院スタイル2008」で経済学部高橋重雄ゼミを紹介

08年6月

- 本学 男子バスケットボール部が第57回関東大学バスケットボール選手権で優勝
- 市川團十郎氏（2007年度客員教授）による日本文学科集中講義が書籍化されました
- 「ミャンマー・サイクロン」「中国大地震」義援金活動報告
- 法務研究科（法科大学院）入試説明会・進学相談会開催のお知らせ
- 硬式野球部 井上選手と高島選手が、FISU世界大学野球選手権大会・ハーレムベースボールウィークの大学日本代表チームメンバーに選出

大学学費納付について

(大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください)

1.学費振込依頼書発送時期

- (1) 後期振込依頼書発送予定日 9月5日(金)【納入期限9月30日(火)】
- (2) 学費振込依頼書は、上記の日程で保証人宛(申し出のあった場合は学生宛)に送付いたします。
- (3) 学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数料は無料です。
その他の都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、農業組合等での振込みは、振込手数料が必要になります。

※注意 ATM(自動振込機)による振込は絶対にしないようご注意ください。

(学生番号、学生氏名の確認ができないため)

2.下記事項問い合わせ先(学費未納等事故防止のため)

- (1) 住所変更(保証人・本人)→学生部厚生課(青山キャンパス)
学生生活グループ(相模原キャンパス)
- (2) 休学・退学希望者 →昼間部(3・4年)および第二部は学務部
教務課(青山キャンパス)
昼間部(1・2年、理工学部全学年)は
学務グループ(相模原キャンパス)
- (3) 学費振込依頼書紛失 →財務部本部資金グループ
- (4) 転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等の学生の学費は、
財務部本部資金グループにお問い合わせください。

3.延納を希望する場合は、納入期限までに各キャンパスの学生部または学生生活グループへ願ひ出てください。

無断で学費を滞納すると除籍になる場合もありますので注意してください。

青山キャンパス 学生部学生課 03-3409-7835

相模原キャンパス 学生生活グループ 042-759-6004

2008年度後期学費一覧表(入学年度別)

単位:円

年度	2008年度入学生	2007年度入学生	2006年度入学生	2005年度入学生
学 部	後 期	後 期	後 期	後 期
文 学 部	391,500	391,500	391,500	391,500
経 済 学 部				
法 学 部				
経 営 学 部				
国際政治経済学部				
総合文化政策学部	396,500			
理 工 学 部	565,500	565,500	565,500	565,500
社 会 情 報 学 部	483,500			
文 学 部 第 二 部	246,000	246,000	246,000	246,000
経済学部第二部				
経営学部第二部				

・上記以外に、教育職員免許状取得の希望を申請した者は教職課程料、また、各種資格取得の希望を申請した者は、資格課程料が後期学費に加算されます。

①2006年度以降入学生

教職課程料7,000円、司書教諭2,000円、司書2,000円、社会教育主事2,000円、学芸員2,000円(※申請年度ごとに徴収)

②2005年度以前入学生

教職課程料14,000円、司書教諭6,000円、司書4,000円、社会教育主事4,000円、学芸員4,000円(※在学中1回徴収)

・後期学費一覧表は、転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等は除きます。

財務部本部資金グループ 03-3409-6479(直通)

学部4年次留年生(在籍5年目以上(休学期間を除き)で4年次に留年した学生)の後期学費納付について

1.学費振込依頼書発送時期

後期履修登録後の発送になります。

10月17日(金) 発送予定【納付期限11月14日(金)】

2.納入金額

- ①前期分所定の学費等(前期授業料および諸費)で納入の学生
→後期学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。

前期科目申請単位数、通年科目申請単位数だけで、すでに「年間所定の学費上限単位数」に達しておりますので、後期科目申請単位数に関わらず前期・後期とも所定の学費となっています。

②前期に、申請単位計算学費(費目は授業料のみ)で納入の学生

→後期学費は、「後期科目」履修申請単位数による単位料となります。(申請単位数×単位料)

但し、前期科目申請単位数、通年科目申請単位数と後期科目申請単位数の合計が「年間所定の学費上限単位数」に達した場合、所定の年間学費と前期納入学費との差額をもって上限といたします。

納入予定額の確認につきましては、財務部本部資金グループにお問い合わせください。

財務部本部資金グループ 03-3409-6479(直通)

Club & Circle Information

【問い合わせ先 学生部学生課 Tel 03-3409-7835】

※主な文化連合会・体育連合会の活動予定。
下記大会演奏会の日程・場所は予定のものです。
今後変更になる可能性もあります。

主要活動予定(2008年8月～11月)

アイススケート部(ホッケー部門) 秋季関東大学アイスホッケーリーグ戦(10月～12月)
アイススケート部(フィギュア部門) 東日本インカレ予選(10月～12月)
アメリカンフットボール部 秋季リーグ戦(9月～12月)
居合道部 東日本学生居合道大会(10月)
空手道部 秋季定期リーグ戦(10月)
弓道部 全日本大学弓道選手権大会(8月)
剣道部 全日本学生剣道優勝大会(10月)
拳法部 東日本大学選手権大会(10月)
硬式庭球部(男子・女子) 関東大学テニス選手権大会(8月)
硬式野球部 東都大学野球秋季リーグ戦(9月～10月)
サッカー部 JR東日本カップ2008第82回関東大学サッカーリーグ戦(後期)(9月～11月)
射撃部 秋季関東学生ライフル射撃選手権大会(8月～10月)
柔道部 全日本学生柔道体重別選手権大会(10月)
準硬式野球部 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦(9月～10月)

少林寺拳法部 全日本学生大会(11月)
水泳部 関東学生選手権(8月～9月)
漕艇部 全日本大学選手権大会(8月)
ソフトテニス部(男子・女子) 全日本大学対抗選手権大会(8月)
卓球部(男子・女子) 全日本大学対抗卓球大会(8月)
テニス部 JAPAN CUP日本選手権(8月)
軟式野球部 東都大学軟式野球連盟秋季リーグ戦(9月～10月)
バスケットボール部(男子・女子) 関東バスケットボールリーグ戦(9月～10月)
馬術部 関東学生選手権大会(9月)
バドミントン部(男子・女子) 東日本学生バドミントン選手権大会(8月)
バレーボール部(男子・女子) 関東大学秋季リーグ戦(9月)
パワーリフティング部 第86回関東学生パワーリフティング大会(11月)
ハンドボール部 秋季リーグ戦(9月～10月)
フェンシング部 全日本学生選手権大会(10月)
ボクシング部 東京都選手権大会(9月)
ヨット部 関東学生ヨット秋季選手権大会(10月)
ラグビー部 関東大学対抗戦(9月～11月)
陸上部(短距離) 関東学生新人陸上競技選手権大会(9月)
陸上部(長距離) 箱根駅伝予選会(10月)
レスリング部 全日本学生選手権(8月)
ラクロス同好会 関東ラクロスリーグ戦(8月～11月)
青山マスコミ研究会 ラジオ番組制作(8月～11月)
青山フォークウェイズ 新人コンサート(11月)
青山ミュージックソサエティ 合同ライブ(早大、慶大)(9月)
青山学院大学アナウンス研究会 発表会(10月)
E.S.S. チャーチル杯スピーチ大会(11月)

オーケストラ部 定期演奏会(11月)
青山学院オラトリオ・ソサエティ合唱団 定期演奏会(10月)
競技ダンス部 松前杯争奪学生競技ダンス選手権大会(9月)
東都日本学生競技ダンスモダン新人戦・東都日本学生競技ダンス選手権II部戦・東都大学学生競技ダンス選手権大会(10月)
天野杯争奪学生競技ダンス選手権(11月)
グリーンハーモニー合唱団 東京六大学混声合唱連盟合唱祭(10月)
争・尺八研究会 定期演奏会(10月)
ロイヤルサウンズジャズオーケストラ 山野ビッグバンドジャズコンテスト(8月)
Hi-Five コンサート・はまちコンサート・JARTコンサート(9月)

主要活動報告(2008年5月～7月)

バレーボール部(女子) 平成20年度春季関東大学バレーボールリーグ戦 2位
バスケットボール部(男子) 第57回関東大学バスケットボール選手権大会 優勝
競技ダンス部 東都日本学生競技ダンスラテン新人戦・理工系大学学生競技ダンス選手権大会
グリーンハーモニー合唱団 東京六大学混声合唱連盟定期演奏会
争・尺八研究会 関東学生三曲連盟新人演奏会
茶道部 常盤樹茶会
落語研究会 昇龍の会合同寄席(他大学合同)
リズムマンドリン ジョイントコンサート(他大学とのジョイント)
ロイヤルサウンズジャズオーケストラ 東京大学五月祭出演

夏期休業期間中の窓口案内

対象期間 8/1(金)～9/20(土)
一斉休業期間 8/1(金)～8/7(木)

※事務室移転のため変更になる場合があります。
※詳細は各キャンパスの掲示板をご覧ください。
※窓口事務は祝日は取り扱っていません。

青山キャンパス	部 署		窓口事務取扱期間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
	庶 務 部		8/8～9/12	月～金	9:00～16:00	9/13(土)より平常通り
	教 務 課		8/8～9/12	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	9/22(月)より平常通り
			9/13～9/20	月～金 土	9:00～19:00(11:30～12:30は除く) 9:00～19:00(11:30～14:00は除く)	
	教 職 課 程 課		8/8～9/12	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	9/22(月)より平常通り
			9/13～9/20	月～金 土	9:00～16:00(11:30～12:30は除く) 9:00～11:30	
	学 生 部		8/8～9/12	火・木	9:00～19:00(12:00～13:00は除く)	9/22(月)より平常通り
			9/13～9/20	月～金 土	9:00～19:00(11:30～12:30は除く) 9:00～11:30、16:00～19:00	
	進 路 ・ 就 職 セ ン タ ー 事 務 室		8/8～9/12	月～金	9:00～11:30、12:30～15:30	土曜のみ9:00～12:00
		9/13～9/20	月～土	9:00～11:30、12:30～16:00		
	進 路 ・ 就 職 セ ン タ ー 資 料 室		8/8～9/12	月～金	9:00～16:00	土曜のみ9:00～13:00
		9/13～9/20	月～土	9:00～17:00		
	図 書 館		8/8～9/12	月～土	9:00～19:00(土曜のみ12:00～19:00)	9/13(土)より平常通り 休館中の本の返却は図書館正面のブックポストに入れてください
	専 門 職 大 学 院 事 務 室		8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/16(火)より平常通り
	大 学 院 事 務 室		8/8～9/12	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	土曜のみ9:00～13:00(11:30～12:30は除く)
		9/13～9/20	月～土	9:00～18:30(15:00～16:00は除く)		
	広 報 入 試 セ ン タ ー		8/8～9/12	月～金	9:00～16:00	9/13(土)より平常通り
	総 合 研 究 所 事 務 室		8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(土)より平常通り。総合研究所図書室は夏期休業期間閉室
	情 報 科 学 研 究 セ ン タ ー		8/8～9/7 9/8～9/20	月～金 月～土	9:00～19:00	9/22(月)より平常通り
	国 際 交 流 セ ン タ ー		8/8～9/12	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	9/16(火)より平常通り
	外 国 語 ラ ボ ラ ト リ ー		8/8～9/12 9/16～9/19	火・金 月～金	9:00～19:00	9/22(月)より平常通り 9/8(月)～9/12(金)AVライブラリー閉室
	学 生 相 談 セ ン タ ー		8/8～9/12 9/16～9/20	月～金 月～土	9:00～16:00 9:00～17:00(土曜のみ11:30まで)	9/22(月)より平常通り
保 健 管 理 セ ン タ ー		大学A棟(仮称)建設に伴い、7号館も一部改修工事が、夏期休業中に予定されております。工期日程が決まり次第、保健管理センター掲示板及び大学ウェブサイトにて開室時間をお知らせします。			9/22(月)より平常通り 11:30～12:30は除く	
宗 教 セ ン タ ー		8/8～9/12 9/13～9/20	月～金 月～土	9:00～16:00 9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	9/22(月)より平常通り	
相模原キャンパス	ユニット	グループ	窓口事務取扱期間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
	学 生 支 援 ユ ニ ッ ト	ス チ ュ ー デ ン ト セ ン タ ー	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(土)～9/20(土) 月～金 9:00～16:00 (11:30～12:30は除く) (土曜日のみ11:30まで) 9/22(月)より平常通り
		学 務 グ ル ー プ				
		進 路 グ ル ー プ				
		国 際 交 流 グ ル ー プ				
		学 生 生 活 グ ル ー プ				
	教 育 ・ 学 習 支 援 ユ ニ ッ ト	健康管理グループ(保健管理センター事務室)	8/8～9/12 8/8～9/12 9/13～9/20 8/8～9/12 9/13～9/20 8/8～9/12 9/13～9/20	火・金 月～金 月～土 火・金 月～土 月～金 月～土	9:00～16:00(11:30～12:30は除く) 9:00～16:00 9:00～17:00(土曜のみ13:00まで) 9:00～16:00(土曜のみ12:00から) 9:00～17:00(土曜のみ13:00まで) 9:00～16:00 9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	9/16(火)より平常通り 9/22(月)より平常通り 9/22(月)より平常通り 9/22(月)より平常通り 9/22(月)より平常通り 9/22(月)より平常通り
		健康管理グループ(学生相談センター事務室)				
		授 業 支 援 グ ル ー プ				
		情報教育支援グループ(情報科学研究センター)				
		図 書 グ ル ー プ (図 書 館)				
		メ ディ ア ラ イ ブ ラ リ ー グ ル ー プ				
		研究支援ユニット				
	企 画 ・ 渉 外 グ ル ー プ					
	底 務 ユ ニ ッ ト	庶 務 グ ル ー プ				
施 設 ユ ニ ッ ト	施 設 グ ル ー プ					
	財務部大学相模原経理グループ					
宗 教 セ ン タ ー		8/8～9/12 9/13～9/20	月～金 月～土	9:00～16:00 9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	9/22(月)より平常通り	

2008年度公開講座 後期開催

本学では、大学での教育及び研究の成果を広く社会に開放し、社会人の教養を高め、文化の向上に資することを目的に、地域社会への貢献という使命から1990年より公開講座を開講しています。

本学公開講座はテーマに基づき1シリーズ5講座で構成され、年齢や資格による受講の制限はなく、どなたでも受講いただけます。各講座の内容・申込方法などの詳細については青山学院大学ホームページ、またはガイドブックをご請求の上、ご参照ください。

【青山キャンパス開講】

- 仕事のプロを養成する:MBAエッセンス講座
(10月3日～11月7日 毎週金曜日・全5回19:00～20:30)
- 英語の諸相
(10月4日～11月8日 毎週土曜日・全5回14:30～16:00)
- キリスト教と文化
(11月15日～12月13日 毎週土曜日・全5回14:30～16:00)

【相模原キャンパス開講】

- 新約聖書「福音書」のイエス
(10月4日～11月8日 毎週土曜日・全5回14:30～16:00)

*いずれの講座も事前に申し込みが必要です。

公開講座ホームページ <http://www.aoyama.ac.jp/extension/index.html>
(ガイドブック請求・講座申し込み)

公開講座に関するお問い合わせ先 (ガイドブックの電話での請求先)
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL. 03-3409-7955 (直通)
青山学院大学 庶務部庶務課(公開講座担当)

AOYAMA GREEN FESTIVAL (第15回青山学院大学同窓祭)開催のお知らせ

9月23日(火・祝)午前10:00～青山キャンパスにて開催

■谷村新司氏トーク&ライブショー開催決定!!(記念館にて)

■東大名誉教授小田島雄志氏による

英米文学科同窓会創立10周年記念講演

■中田宏横浜市長講演会

■キャラクターショー『ドラえもんのお祭りパニック』

環境・社会貢献活動『クリーン青山』、『Shall we dance? 2008』、『青山寄席』、『法律税務等相談+模擬裁判』など皆様にお楽しみいただけるような企画が目白押しです。また、例年好評の模擬店・出店・福引抽選会もますます充実! 夕刻からは青学会館にて懇親パーティーを開催。

詳細は同窓祭ホームページ<http://aogaku-doso.jp>をご覧ください。



お問い合わせ先
大学同窓祭実行委員会事務局
TEL03-3409-8990 E-mail:alumni@netlaputa.ne.jp

2009年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験日程

●一般入学試験 試験会場：青山キャンパス

学部・学科・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合文化政策学部 総合文化政策学科(A方式) 社会情報学部 社会情報学科(A方式・B方式) 理工学部 物理・数理学科(A方式) 化学・生命科学(A方式) 電気電子工学科(A方式) 機械創理工学科(A方式) 経営システム工学科(A方式) 情報テクノロジー学科(A方式) 理工学部 物理・数理学科 (B方式・センタープラス方式) 化学・生命科学 (B方式・センタープラス方式) 電気電子工学科 (B方式・センタープラス方式) 機械創理工学科 (B方式・センタープラス方式) 経営システム工学科(B方式) 情報テクノロジー学科 (B方式・センタープラス方式) 教育人間科学部* 教育学科(B方式)* 心理学科(A方式)* 文学部 英文文学科(A方式) フランス文学科(A方式・B方式) 日本文学科(B方式) 史学科(A方式) 教育人間科学部* 教育学科(A方式)* 心理学科(B方式)* 文学部 英文文学科(B方式) 日本文学科(A方式) 史学科(B方式) 経営学部 経営学科(A方式・B方式・C方式) マーケティング学科 (A方式・B方式・C方式)* 法学部 法学科(A方式・センタープラス方式) 国際政治経済学部 国際政治学科 (A方式・B方式・学科同時エントリー方式) 国際経済学科 (A方式・B方式・学科同時エントリー方式) 国際コミュニケーション学科 (A方式・B方式・学科同時エントリー方式) 経済学部 経済学科(A方式・B方式) 現代経済デザイン学科(A方式・B方式) 総合文化政策学部 総合文化政策学科(B方式) 文学部第二部 英文文学科(A方式・B方式)	1/5(月)～1/26(月) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/9(月) 2/10(火) 2/11(水) 2/13(金) 2/14(土)	2/15(日) 2/20(金) 2/24(火) 2/27(金)	2/23(月) 2/27(金) 3/2(月) 3/3(火) 3/4(水) 3/6(金)

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(火)です(正合格者のみ対象)。

*2009年4月設置・開設

●大学入試センター試験利用入学試験

【前期日程】

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合文化政策学部 総合文化政策学科 社会情報学部 社会情報学科 理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学 電気電子工学科 機械創理工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科 文学部 フランス文学科 史学科 経営学部 マーケティング学科* 法学部 法学科(3教科型・4教科型) 国際政治経済学部 国際政治学科(3教科型・4教科型) 国際経済学科(2教科型・3教科型・4教科型) 国際コミュニケーション学科 経済学部 経済学科 現代経済デザイン学科(3B型・4B型)	1/5(月)～1/17(土) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	1/17(土) 1/18(日) 「平成21年度 大学入試センター 試験受験案内」を 参照してください	2/15(日) 2/17(火) 2/20(金) 2/21(土) 2/23(月) 2/24(火) 2/25(水)	2/23(月) 2/24(火) 2/27(金) 3/2(月) 3/3(火) 3/4(水)

※各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(火)です。

【後期日程】

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
社会情報学部 社会情報学科 理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学 電気電子工学科 機械創理工学科 情報テクノロジー学科 経営学部 マーケティング学科* 法学部 法学科 国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科	2/25(水)～3/5(木) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	1/17(土) 1/18(日) 「平成21年度 大学入試センター 試験受験案内」を 参照してください	3/14(土)	3/19(木)

※各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

※入学手続締切日までに、入学金を含む学費等を納入してください。

前期終了科目成績通知について

成績通知書は9月13日(土)～10月31日(金)に各キャンパス内設置の学内情報端末または学生証リーダ付PCにて閲覧できます。期間中に印刷しておいてください。

アドバイザー・グループ紹介 17

聖書の真理に触れ、大切な人間関係を築く 〈小張アド・グル〉



経済学部 小張 敬之 教授

アド・グルの活動の基本は、豊かな人間関係を築くことにありと考えています。これは青山学院大学のモットーである、聖書の世界観を理解し体験することでもあります。神に愛されていることを自覚しながら、お互いを大事にし、共にいて楽しい時を過ごすアド・グルはそのための場でもあるのです。

とはいえ、特別に難しいことをするわけではありません。とにかく皆で集まり、食べて、討論し、楽しい時間を分かち合うことが基本です。たわいもない話でも、そこから人間同士のふれあいが始まり、新しい何かが生まれてきます。

毎週月曜日は相模原キャンパスで、火曜日は青山キャンパスの研

究室で昼食会を行うのが活動の中心です。それから月に一度は“食べ歩き会”を学生たちの企画で実施しています。また 旅行や季節ごとのコンパ、さらに青山祭ではお店も出すなど、イベントも盛りだくさん。卒業生との交流が活発なのも特色です。



“The Lord is my light and my salvation.” (Psalms 27:1)
「主は私の光、私の救い」
聖書の真理に触れ、神に祝福された人生を歩みましょう。

AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

●なお、「AGUニュース」を確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。

青山キャンパス→学生部厚生課
事務取扱窓口
相模原キャンパス→学生部厚生課
相模原キャンパス→学生部厚生課